

1. 言語の獲得

小学生のころは赤ちゃんと同時に外国で生活しているのだが両親は日本人なので外国で生活している中で日本語を習得し続けているが今ではどうもややうと喋れることが出来る

言語の教育について、幼少期にふれていれば、自然とバイリンガルになるのではないか、という考えはあります。

私の友人は小学校1年生で日本に生活していた彼女は日本にいても両親が家で中国語を喋る。そのおかげで幼稚園にいっても日本語がまったくわからなかったが、中国に帰ってきたおかげで日本語を幼少期から始めたが、発音がとてもいいですが文法や文章を書く能力が普通の留学生と差別がほとんどない。

幼児期にいくつかの言語話者とコミュニケーションをとられることで、私たちが苦しい課題を一つ解決できるのではないかと考えました。

私が知っている人は、小学校の時にドイツで暮らしていて、ドイツ語を話していたが、日本に帰ってきたら、聞くことはできるけど、話せなくなりました。きっと、この分野でも、きちんとした研究はあると思います。

ただ、聞いた話では、どちらの言語も中途半端になってしまう人もいます。本学学生でも、海外生活が長かったために、日本語の漢字の読み書きができず、外国語も中途半端という学生がいたようです。

なお、私の息子は、私よりも文章を書くのが上手です。私の考えでは、小学校が少人数(1学年20人以下)で、そのときの先生が丁寧に文章を指導して下さったからではないかと推察します。(廃校寸前の学校でした。) 結局、子どもの時の言語能力は、日本語か英語かに関わらず、誰かが丁寧に向き合っ、触れ合うことが大事だと結論付けられるのではないかと思います。

「親子関係が良ければ子は話す数、単語数が多くなり使われる」と聞くと、それは赤ん坊が母や父母との反応を察して発音して言葉を習得しているからなのではないか。赤ん坊の聞き取り能力の試験では、TVを見せれば効果がないことはとても衝撃的だ。私は英語を話せるようになったけれど、やはり高校までの授業では話せるようにはならなかった。コミュニケーションを中心に授業のABCをくり返しながら覚えていくことが自然なことで今回改めて感じた。ビデオでの教えと人からの教えでは、理解に差が出るというのはとても興味深かったです。

赤ん坊の言語獲得にはコミュニケーションが必要だということを知ると同時になぜ音声ビデオだけでは満足した聞き取り能力が向上しないのかという疑問を持った。これは、重要なポイントです。赤ちゃんが聞き取った結果を確かめられるか、が分かれ目だと考えられます。つまり、Cができることです。

最初の郵画で、何故最終に「パンダ」が「予視」で「おぼろ」か。残念ながら、日本語ではRとLを区別しないで育つので、聴覚が耳が区別できるように発達しません。私の友人は宇宙飛行士なのでロシア語を修得する必要がありました。母語と同じようにできることを諦めたら、気楽に勉強できるようになったそうです。面白い問題設定ですね。哲学を勉強する人は、英独仏に加え、ギリシア語ラテン語がヘレンケラーが、水に対応した言葉があることに気づいたとしても、それをサリバン先生に確かめることができなければ身につかなかったでしょう。いい例ですね。

2. 対人関係

僕が高校生のとき夏にとてもイイ感じだった女の子から急にLINEの返信が来なくなった。花火に行こうと話をしていたのに「嫌な話だね」と言われて、夏が終わる頃に確かめようとしてLINEを断った。断られた。A.LINEが急に来なくなったのは嫌な話だね?

甘酸っぱい科学のABCでした。

C. デートに誘った。あの恋はじめて科学でした。私は高校生の頃、悩みかありえる人を見つけたら、「どうしたの? とまじく聞くことにしました。話したくない、という気持ちも少しも感じ取るのができれば無理に聞き出すことはしません。当時はそれで良いと思っていましたが、それも閉鎖前からの鬱せぬんびるのか? と考え行動するのが大切だと今回の授業で学んだ。

対人関係は色々なので、聞くことも時にはもちろん必要でしょう。私が話したかったのは、聞くばかりではなく、相手の状態を自分で推測することをする能力も必要ではないか、ということ。気遣いとか配慮の原点ではないでしょうか。

3. 大人の科学のABC

その通りです！生まれながらにしてその能力を持っているのだ、という

私もかつて無意識に物理学者トータ「元カ」します。う自覚を持ちましょう。そして、それを

大人になった子供の時のようにやっていたら、それは大人になり失敗すること取っかえ、失敗しているところを
見逃さないという風に思うようにするのは、その通りですが、その気持ちを出し
見逃さないという風に思うようにするのは、その通りですが、その気持ちを出し

大人になると子供の時のようにやっていたら、それは大人になり失敗すること取っかえ、失敗しているところを
見逃さないという風に思うようにするのは、その通りですが、その気持ちを出し

大人になると子供の時のようにやっていたら、それは大人になり失敗すること取っかえ、失敗しているところを

見逃さないという風に思うようにするのは、その通りですが、その気持ちを出し
見逃さないという風に思うようにするのは、その通りですが、その気持ちを出し

もしかしたら、学歴社会は、そんなところから来るのかもしれませんが。つまり、偏差値の高い大学に行く
人たちは、堂々としていて、失敗を恐れないけれど、そうでない人は、「バカにされるのではないかと心配

やれないものに取っかえ、失敗すること取っかえ、失敗しているところを
見逃さないという風に思うようにするのは、その通りですが、その気持ちを出し

18分で区切り、集中する、方法をためてみようと思います。

大人になった私は意識して新しいものと触れ合うことが「良い人生

めに必要だと分かった。旅行や留学は、時々、「サバイバル」です！まさに、赤ちゃんのように
必死に試行錯誤をしなければならない環境になるでしょう！

4. その他

このABCができていないと生きていくのが困難になってしまう可能性すらありと私は考え

赤ちゃんの物事を覚えるスピードが早いというの、今日の授業で分かった。換算でも触れたの、初めて見るものに対応する能力を進化の過程で
得た。とある。これを覚える過程で、これは危機管理能力が問われていると表す。

「何故人は話を覚えるか」という話の中で出てきた「オカミに育てられた少女」というのは、「アツ」と「カツ」のことで、
一連の話を本越しく知って、「人間はやはり頭が良い」という結論に至った。何故人、犬が人間のようにならな

人間と同じように、犬が人間のようにならな、犬が人間のようにならな、犬が人間のようにならな

RとLの音で区別して、Rの音がでてきたら「パンダ」がでてくるという推測という授業の感嘆にとっても感心しました。

実験や研究で、「これはできないからダメ」とすぐにあきらめてはいけない、という教訓ですね。

私はTED大好きです。先生は好きで授業も教えたこと

- 主に、授業関係で視聴します。いくつかありますので、あげてみます。
・ The history of our world in 18 minutes, David Christian 自然理解「ビッグ・ヒストリー」と関連します。
・ Let my dataset change your mindset, Hans Rosling データが示す世界は、私たちの誤解を明らかにします。
・ The kill decision shouldn't belong to a robot, Daniel Suarez 近年の科学技術の発達は、同時に、容易に人を傷つけることにも応用できます。その先を想像するとぞっとします。
※授業で紹介したTEDは講義のページから参照できます。これらのTEDもリンクしておきます。

※ e-Campus に掲載した宿題の期限 : 10月29日 (月) です！